

令和元年 第10回大田原市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和元年9月12日(木)		午後1時30分		
開催場所	403会議室				
会議出席状況	教育長	植竹福二	出席		
	委員	深澤道昭	出席	川上聖子 出席	
		小林朋子	出席	森 泉 出席	
		渡邊英憲	出席		
	事務局職員	教育部長	斎藤達朗	生涯学習課長	津久井 静 男
		教育総務課長	大森 忠 夫	文化振興課長	長谷川 操
		学校教育課長	明澤 伸 宏	スポーツ振興課長	君 島 敬
		国体推進課長	磯 一 彦		
	書記	教育総務課	伊東佳子、松本一弘		
	付議事項	○ 報告	1 件	〔報告第 6 号～第 号〕	
○ 協議		件	〔協議第 号～第 号〕		
○ 議案		2 件	〔議案第 35 号～第 36 号〕		

1 開 会 午後1時30分

2 前回会議録の承認

3 議 事

日程第 1 報告第 6号 令和元年度大田原市教育委員会事務事業（平成30年度事業対象）点検評価の諮問について

日程第 2 議案第35号 2020東京オリンピック・パラリンピック開催による祝日の変更に伴う大田原市教育委員会の必要と認める休業日について

日程第 3 議案第36号 大田原市史編さん基本方針について

4 そ の 他

5 閉 会 午後2時8分

6 傍 聴 人 0名

7 会議の要旨 次のとおり

令和元年 第10回大田原市教育委員会定例会 発言要旨

令和元年9月12日(木) 午後1時30分から

- 教育長(植竹福二君) 　　ただいまから令和元年第10回大田原市教育委員会定例会の会議を開きます。
- 教育長(植竹福二君) 　　前回会議録は、書記をもって調製させましたので、順次回覧いたします。内容をご確認いただきたいと思います。
- (会議録順次回覧)
- 教育長(植竹福二君) 　　会議録の内容についてご確認いただきましたが、前回会議録につきましてご承認いただけますか。
- (異議なしの声あり)
- 教育長(植竹福二君) 　　異議はないようでありますので、前回の会議録は承認されました。委員会閉会后、ただいまの会議録に署名をお願いいたします。
- 教育長(植竹福二君) 　　本日付議いたします案件は、報告1件、議案2件であります。それでは日程に従い会議に入ります。
- 日程第1 報告第6号 令和元年度大田原市教育委員会事務事業(平成30年度事業対象)点検評価の諮問についてを議題といたします。詳細について、教育総務課長から説明をお願いします。
- 教育総務課長(大森忠夫君) 　　(概要の説明を行う)
- 教育長(植竹福二君) 　　説明が終わりましたので、質疑を行います。
- 教育長(植竹福二君) 　　質疑はないようでありますので、質疑を終わります。お諮りいたします。
- 報告第6号 令和元年度大田原市教育委員会事務事業(平成30年度事業対象)点検評価の諮問についてにつきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。
- (異議なしの声あり)
- 教育長(植竹福二君) 　　ご異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり承認されました。
- 次に、日程第2 議案第35号 2020東京オリンピック・パラリンピック開催による祝日の変更に伴う大田原市教育委員会の必要と認める休業日についてを議題といたします。
- 詳細について、学校教育課長から説明をお願いします。
- 学校教育課長(明澤伸宏君) 　　(概要の説明を行う)
- 教育長(植竹福二君) 　　説明が終わりましたので、質疑を行います。

- 委員（深澤道昭君） 例年どおり、秋休みを連休で設定したいということでしょうか、休日を一日増やすことで、年間での休日が増えるということかと思いますが、学校での授業時間に影響することはないですか。
- 委員（渡邊英憲君） 夏季休暇や、冬季休暇の日数も例年どおりで、そこに1日増やすということですか。
- 学校教育課長（明澤伸宏君） はい、例年よりも休日は1日多くなります。学校への影響ですが、教育委員会としても早めに来年度の休日を学校側に知らせることができまので、学校側としても教育課程を作成する中で、授業の進め方ですとか、学校行事等も組みやすくなりますことから、特に影響はないと思われま。
- 教育長（植竹福二君） その他、質疑はないようでありまので、質疑を終わります。
お諮りいたします。
日程第2 議案第35号 2020東京オリンピック・パラリンピック開催による祝日の変更に伴う大田原市教育委員会の必要と認める休業日についてにつきましては、原案のとおり可決することにご異議ございせんか。
- （異議なしの声あり）
- 教育長（植竹福二君） ご異議なしと認めま。よって本案は、原案のとおり可決されま。
次に日程第3 議案第36号 大田原市史編さん基本方針についてを議題といたします。
詳細について、文化振興課長から説明をお願いま。
- 文化振興課長（長谷川 操君） （概要の説明を行う）
- 教育長（植竹福二君） 説明が終わりましたので、質疑を行います。
- 委員（深澤道昭君） 市史編さんの調査研究成果としての速報として、研究集を公開するとありますが、年に1冊刊行するというのは、結構大変なことだと思いま。
- 文化振興課長（長谷川 操君） 研究集については、現代編の編さんを随時公開するということではなく、主に、資料集のうち自然、民俗といったものについて、専門部会の先生方が調査、研究に当たっていただくことになりまので、それらの研究結果を年度末に1冊刊行するということになりま。
なお、市史編さん全体の進捗状況等で、即時に伝えておきたい内容については、広報等を通じて市民の皆さんにお知らせできるかと考えておいま。
- 委員（森 泉君） 発行部数は、どの程度を考えているのでしょうか。
- 文化振興課長（長谷川 操君） あくまで、現在の試算ですが、現代編を1,000部、資料集及び研究集については、各500部としておいま。

特に、現代編についてですが、一般的に市史を刊行するに当たっては、事前予約を取る必要がありまして、需要調査をすることになりますので、それらも踏まえて最終的な部数を市史編さん委員会の中で決定していきたいと考えております。

○教育長（植竹福二君）

その他、質疑はないようでありますので、質疑を終わります。

お諮りいたします。

議案第36号 大田原市史編さん基本方針についてにつきましては、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○教育長（植竹福二君）

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本日予定されました案件はすべて議了いたしました。

なお、その他で何かありますか。

○学校教育課長（明澤伸宏君）

文部科学省が実施しました、今年度の全国学力調査・学習状況調査の結果が各市町にありましたので、その概要をご説明いたします。

小学校6年生では、国語、算数ともに全国平均、県平均を上回る正答率となりました。昨年度までは、それぞれの教科においてA(知識)、B(活用)の問題に分かれていましたが、今年度からまとめたかたちでの問題、結果ということになっております。

中学校3年生では、国語、数学、英語のすべてにおいて、同じように全国平均、県平均を上回る正答率となりました。

今後も継続して、知識定着の指導の徹底、さらには身に着けた知識を活用し、課題を解決する力の育成がより一層図られるよう、学習指導の充実に努めていきたいと考えております。

次に、平成26年度から県内一斉で実施されていますとちぎっ子学習状況調査の結果についてご説明いたします。

小学校4年生及び5年生では国語、算数、理科、中学校2年生では5教科が実施されておりまして、全ての学年及び全ての教科で県の平均正答率を上回る結果となりました。

平成30年度から小中一貫教育が全面実施となり、各中学校区において学力向上を中心に9年間の教育活動を充実させております。

また、市独自のドリルによる基礎学力の定着、あるいは系統性を図った独自の学力テストの実施、学校への臨時・非常勤職員の配置によって、個々に応じたきめ細やかな支援の充実、授業の充実に資するICT機器の整備等の学習環境の整備に努めております。

これらの取組みが、今回の調査結果を始め、児童生徒の学力定着につながっていると考えられます。

○教育長（植竹福二君）

補足ですが、全国の調査では主に日本海側の県が上位の結果となっておりますが、大田原市の結果は全体的に引けを取らない結果でありまして、特に中学生の数学については、全国でNo.1となっております。

私の思いとしては、ゆくゆくは栃木県全体が秋田県や福井県の結果並みになることを願っていますが、まだ差がありますので、せめて県北地区だけでも切磋琢磨

磨しあって、肩を並べたいと思っていますし、この地区から世界に羽ばたく子どもたちが出てくると思って楽しみにしているところでもあります。

- 学校教育課長（明澤伸宏君） 補足になりますが、今年度の中学3年生の学年は、小学6年生の時も調査を受けておりますが、小学6年生であった平成28年度の全国との差を、中学3年生となった令和元年度の全国差と比べますと、大きく増加していますので、3年間で確実に学力が身につけていることがわかるか思います。
- 教育長（植竹福二君） 以前は、市内でも結果が2極化する傾向がみられましたが、現在は全体的に底上げされてきておりまして、平均的になってきた面も見られます。
- 委員（深澤道昭君） 学力が向上している要因としては、何が考えられますか。
- 学校教育課長（明澤伸宏君） いくつか考えられますが、市全体を通じて見られることとしては、小中一貫が進みまして、小学校から9年間を通して学力をつけていく、小中学校の枠を越えて、小中が協力して子どもたちに力をつけていこうと、校長先生を中心に行われていることが大きいと感じています。
- 委員（深澤道昭君） 那須地区でも、大田原市の小中一貫教育は力を入れて実施されていると、教育事務所の方でも述べられていましたので、ぜひこの流れを継続していただきたいと思います。
- 教育長（植竹福二君） その他、特にないようでありますので、以上をもちまして、令和元年第10回大田原市教育委員会定例会の会議を閉会いたします。
ご苦労様でした。

閉会：午後1時58分

この会議録は、令和元年9月17日に調製されたものであるが、その内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

令和元年10月1日

委員

委員

委員

委員

委員

調製者